

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 7 月 9 日

香川県知事 殿

提出者

住 所 善通寺市吉原町363番地2

氏 名 辻村建設株式会社

代表取締役 辻村啓一

電話番号 0877-62-1361



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	辻村建設株式会社 砕砂工場
事業場の所在地	善通寺市弘田町1790番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	鉱業、砕石業、砂利採取業
② 事業の規模	砕砂 約87,000t (R5年度末)
③ 従業員数	12名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	参照(別図-4)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項								
(管理体制図) 別図参照								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度(令和5年度)実績】 単位:t							
	産業廃棄物の種類	汚泥						
	排出量	91,000						
	(これまでに実施した取組) 再生利用に努めた							
②計画	【目標】 単位:t							
	産業廃棄物の種類	汚泥						
	排出量	86,000						
	(今後実施する予定の取組) さらなる再生利用に努める 自社の採石場の場内緑化に使用した。表土、ズリ等と混合して行う							
産業廃棄物の分別に関する事項								
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							

(第3面)

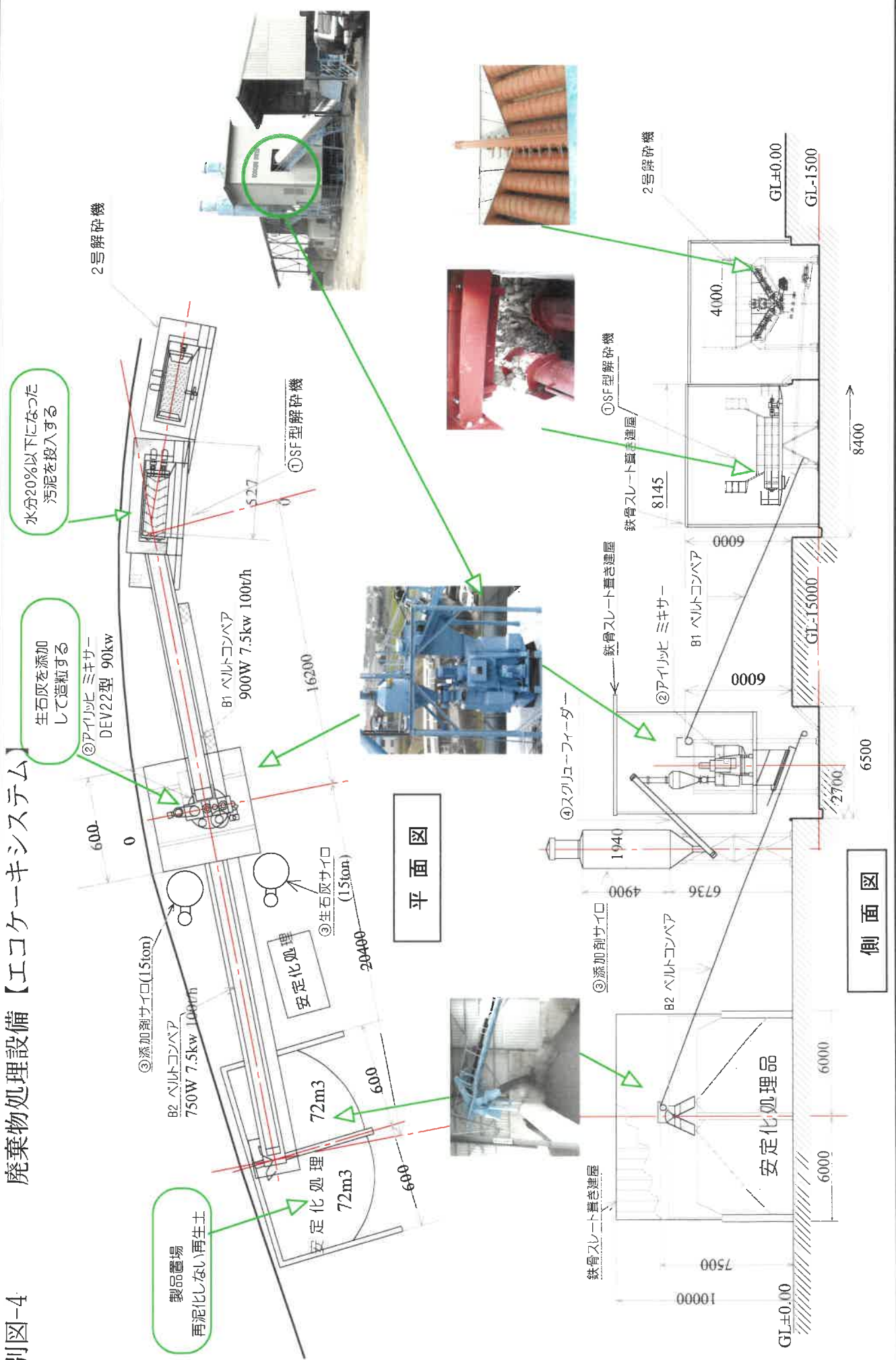
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	7,500							
	(これまでに実施した取組) 自社の採石場にズリ、表土等の砕石と一緒に埋戻しを行い場内緑化の為に利用した。								
②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	7,000							
	(今後実施する予定の取組) 自社の採石場にズリ、表土等の砕石と一緒に埋戻しを行い場内緑化の為に利用する。								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	83,500							
②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	84,800							
(今後実施する予定の取組) 脱水処理を行い、減量化を行う。									

別図-4 廃棄物処理設備【エコーシステム】



会社概要

- ・会社名：辻村建設株式会社
- ・資本金：4500万

砕砂工場

- ・従業員数：12人
- ・砕砂出荷数量：約92,000t（令和4年度）
- ・概要：砕石工場で生産された20-0mmの砕石を原料に破碎・分級・濁水処理工程を経てコンクリート用、舗装用砕砂を生産している。

連絡先

辻村建設株式会社 砕砂工場
765-0071 香川県善通寺市弘田町1790番地
☎：0877-63-1150 FAX:0877-63-2508

（担当：近藤）

計画区間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物の処理にかかる管理体制

責任者及び管理組織図

総括責任者		砕砂工場工場長 近藤洋司
廃棄物担当		組織担当 旅田・入江・青木
役割	廃棄物処理 総括責任者	◆ 廃棄物処理方針の策定 ◆ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ◆ 廃棄物処理計画の作成
	廃棄物管理 担当	◆ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ◆ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握

管理組織図

